

対象国の条件 :CARDイニシャティブ支援対象国を中心としたアフリカにおける稲生産国。

研修コース番号 :201984691-J002

案件番号 :201984691

主分野課題 :農業開発/稲作・その他穀物、根茎作物

副分野課題 :

使用言語 :英語

案件概要

CARD対象国を中心とした稲生産国における中核的農学研究者の育成を支援。稲作振興には技術開発及び普及、生産資材供給、バリューチェーン整備、政策支援等含めた総合的アプローチが必要であるが、その中心的役割を果たすことが期待される中核的農学研究者の育成を目指す。コア研修においては、稲作研究手法の習得を目的として、稲作に関わる基礎的かつ応用可能な知識や技術、論理的思考方法等を習得する。個別研修においては、大学教員の指導のもと、研修員のニーズを踏まえ、研修員個々の専門分野を深める。本研修は、農学系大学間のネットワーク（JISNAS：農学知的支援ネットワーク）との連携のもとで、研修員の専門分野と指導教員のマッチングを行う。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

中核的農学研究者として専門分野横断的に備えるべき稲作に関わる基礎的かつ応用可能な知識、技術、研究手法やノウハウを習得し、また今後協働可能となるような国内外のネットワークを構築すること。

【成果】

1. 自国における稲作の現状と課題を明らかにし、自らが取り組むべき研究課題とその手法を明確にする。
2. 稲作研究者として必要な専門知識・技術を取得し、各種実験手法及び実験結果の論理的解析手法等を習得する。
3. 研究組織および研究者ネットワークの形成、連携方法について習得する。
4. 今後の研究計画を含むリサーチプランを作成し、所属組織内で承認される。

【対象組織】

大学、農業研究機関等稲研究を実施する組織

【対象人材】

- 【対象組織】 大学、農業研究機関等
- 【資格要件/職位】 上記組織に所属し、稲作関連分野で研究に従事する者
- 【資格要件/職務経験】 大学卒業以上または同等の学歴を有し、研究実務経験5年以上
- 【資格要件/その他】 十分な英語能力を有する45歳以下の者

内 容

1. 研修員がインセプションレポートを作成し、研修員および講師と議論する。
2. 稲作に関わる基礎的かつ応用可能な知識や技術に係る講義に加え、具体的研究を教材として、研究課題のとらえ方、実験の組み方、データの整理や発表等、演習も含めた研修を行う（コア研修）。また、各研修員の専門分野、研究分野に応じて、大学教員の指導のもと、研究に必要な実験手法や解析手法等について研修を行う（個別研修）。
3. CARDイニシャティブの概要及び日本国内外の農業研究機関等について紹介し、ネットワーク形成方法や協働・連携方法について講義を行う。
4. 研修員のリサーチプラン作成について指導し、リサーチプランの発表会を行う。また、研修員帰国後、必要に応じて技術的な提言、支援リソースの紹介等の支援を行う。

本邦研修期間

2019/6～2019/7

担当課題部

農村開発部

所管国内機関

JICA中部

関係省庁

文部科学省

実施年度

2018～2020

主要協力機関

国立大学法人名古屋大学

**特記事項
及び
ホームページ**

アフリカ稲作振興のための共同体（CARD）関連文書
<http://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/approach.html>